



石川県漁業調査指導船

禄剛丸



石川県漁業調査指導船“祿剛丸”の竣工にあたって

石川県の魚は歴史上、「延喜式」（平安時代）という宮中の儀式や全国の役所の事務処理法、税金などの法令を記した書物では『能登鯖』というブランド名として登場し、「山海名産図會（ずえ）」（江戸時代）においては、『鯖は丹後、但馬、紀州熊野より出ず。そのうち能登を名品とす。』と謳われております。

これは、本県の能登半島が日本海に突出して、南西から北東に向かって細長く、対馬暖流の影響と沖合冷水塊の消長によって、遠い昔から日本海有数の好漁場を抱えていたことを物語るものと考えられます。

近年における我が国の漁業をめぐる生産環境は、近海における底魚類を中心とした漁業資源の減少、200海里体制の定着化に伴う我が国漁船の海外漁場の大幅な縮小等により年々厳しさを増すなかで、沿岸から沖合漁場の重要性が見直されております。

このような状況を踏まえ、本県におきましては、試験研究部門を統合した水産総合センターの竣工（平成6年度）に先立ち、漁業調査指導船“祿剛丸”の竣工をみることで喜びに堪えません。

今後、新鋭“祿剛丸”が最新技術の導入開発と資源生態及び資源環境の解明を図って、県民の食生活に新鮮かつ安定した魚介類を供給する水産業発展の一翼を担い「水産石川」の名を高揚するものと確信する次第であります。

平成5年3月

石川県知事 中西陽一

石川県漁業調査指導船「祿剛丸」

船主	石川県	起工	平成4年9月9日
所属	石川県水産試験場	進水	平成5年1月27日
資格	第3種漁船	竣工	平成5年1月29日
建造	ヤマハ発動機株式会社	設計	株式会社東京設計研究所
		監督	坂本設計研究所

本船の目的

本船は、石川県沿岸及び沖合漁業の振興のため、漁業に関する試験調査及び海洋調査を行い、最新漁業技術の導入開発と資源生態及び資源環境の解明を目的としたパイオニア船である。

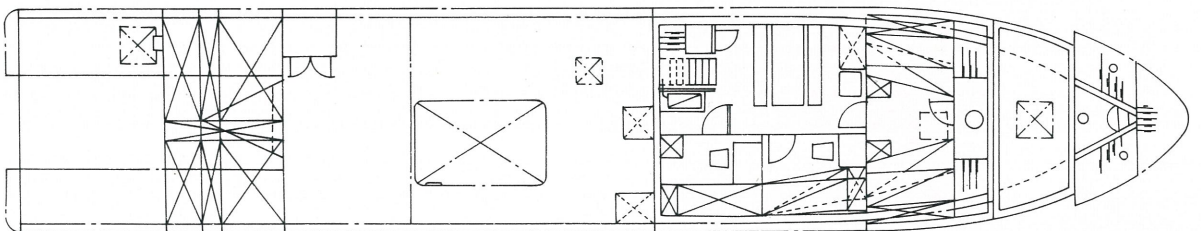
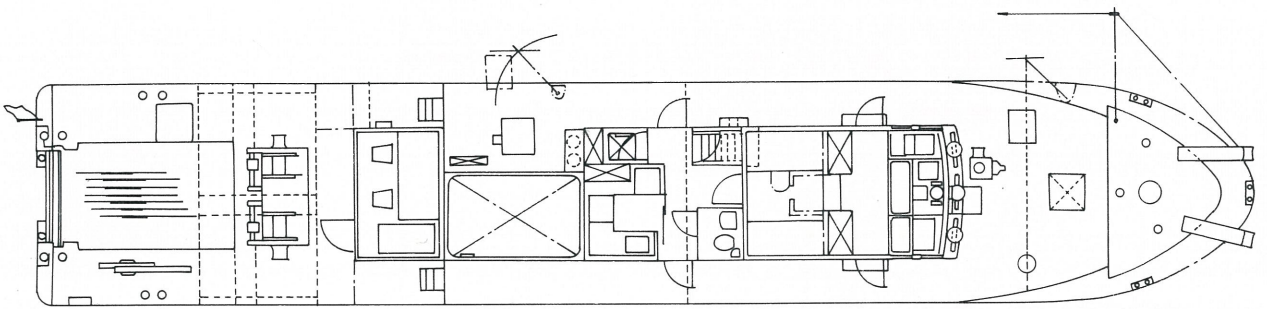
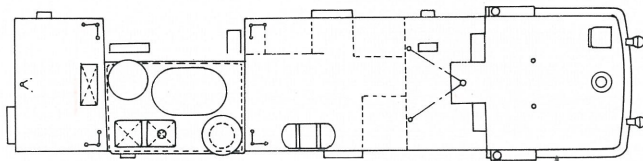
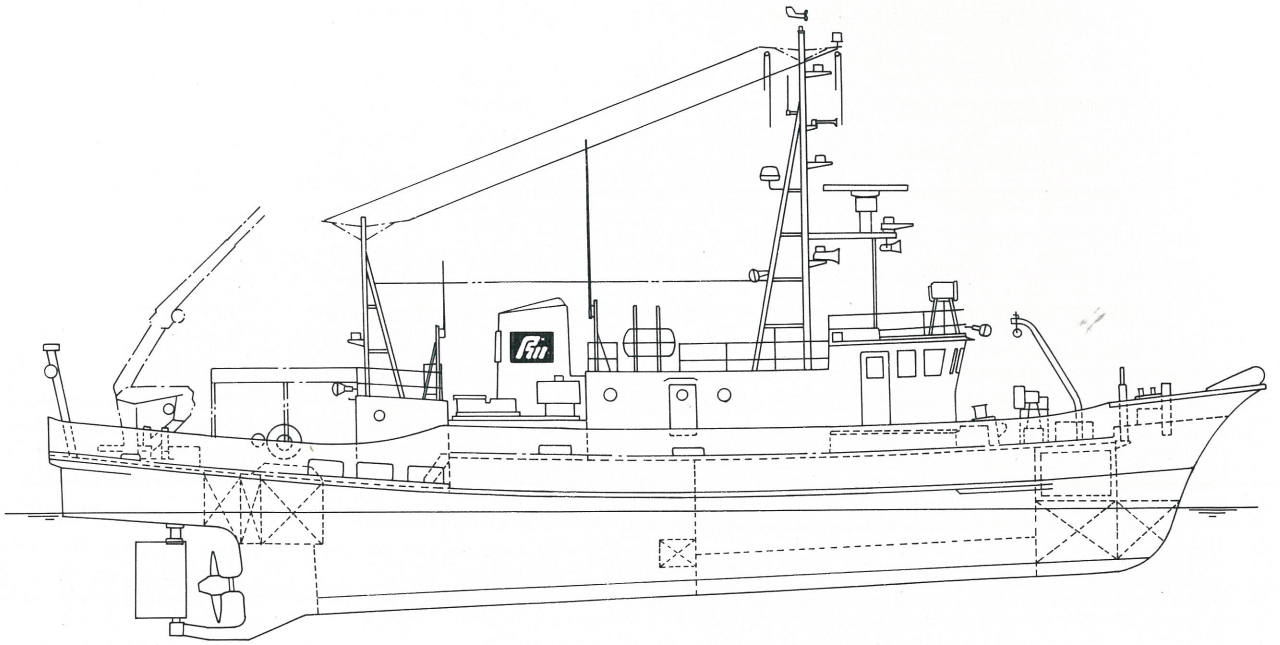
なお、本船の実施する諸業務は次のとおりである。

1. 海洋観測調査
2. 海底地形及び海底地質調査
3. ズワイガニ・カレイ等底曳網漁業試験調査
4. エビ・カニ等籠漁業試験調査
5. 底刺網等漁業試験調査
6. 延縄等釣り漁業試験調査
7. 定置地帯海底形状調査及び定置網乗網機構調査
8. 魚群探知機による魚種別生息密度調査
9. 人工礁漁場調査及び魚礁効果調査

本船の特徴

1. 船体は、強化プラスチック（FRP）製単板構造で、軽快・優美な外観、かつ衛生的な居住設備を設けている。
2. 推進機関は、中速ディーゼル機関800馬力1機1軸とし、可変ピッチプロペラを装備している。
3. 観測調査機器、漁撈機械及び航海機器は、最新の科学技術を採用し、装備全般にわたり集中管理・省力化及び省エネルギー化を図っている。

祿剛丸 一般配置図



主要目及び主要設備

1. 船体部

船 質	FRP	
主要寸法	長さ(全長)	27.00m
	〃 (登録長)	22.60m
	幅 (登録幅)	4.98m
	深さ(登録深)	1.92m
	〃 (満載喫水)	1.55m
総トン数	43トン	
速 力	試運転最大	14.7ノット
	航海速力	13.5ノット
航続距離	800海里	
定 員	船員6名	
	調査員2名	計8名
容 積	燃料タンク	9 m ³
	清水タンク	3 m ³
	活魚艙	5 m ³

3. 航海機器

操舵装置	PR1082-TN012-TC	(トキメック)
ジャイロコンパス	GM-21	(トキメック)
磁気コンパス	SM-150A-1	(トキメック)
GPS航法装置	JLR-6000	(日本無線)
ロランC航法装置	JNA-761	(日本無線)
航跡記録機	NJW-101A	(日本無線)
データレコーダー	NDM-50B	(日本無線)
船舶用レーダー	JMA-3727-6	(日本無線)
超音波流向流速計	JLN-616	(日本無線)
風向風速計	FW-200	(古野電気)

2. 機関部

主 機 関	立形単動4 サイクル直接噴射式ディーゼル機関	
	6N165-EN 800PS/1400rpm	1基(ヤンマー)
減速逆転機	歯車1段減速式	
	YX-351L	1基(ヤンマー)
補 機 関	4 サイクル直接噴射式ディーゼル機関	
	4CHL-TN 62PS/1800rpm 50kVA	2基(ヤンマー)
プロペラ	3翼可変ピッチプロペラ・ハイスキュード	
	CPCM-45A D×P=1600mm×1600mm アルミブロンズ製	
		1基(かもめプロペラ)
発 電 機	3 相交流	
	ABE-252C 50kVA/225V 128A	2基(三菱)
変 圧 機	乾式自冷式	
	5kVA×1φ 220V/105V	3基(三信船舶)
空 調 機	パッケージ式/ヒートポンプ式	
	US3GDTG/CAPAO8AS	各1基(ダイキン)

4. 調査観測機器

観測用ウインチ	TS-2PV 3.2φ×1100m	(鶴見精機)
C/STD SBE-911		(米国SBE社)
データ処理コンピューター	PC-9801FA	(NEC)
スキャニングソナー	CSH-70	(古野電気)
カラー魚群探知機	FCV-140	(古野電気)
魚群探知機	FE-1282	(古野電気)
航走水温計	MKN-21A	(村山電気)
デジタル温度計	DT-3110A	(村山電気)
測探儀	TS-2PV 3φ×1500m	(鶴見精機)
採泥器	スミス・マッキンタイヤ小型	(本地郷)
ストッカー	SCR-D350 350ℓ -40℃	(三洋電気)

5. 漁撈機械

キャブスタン KH-TA-C1	1500kg×30m/min	(川崎重工)
トロールウィンチ KH-TA-I	1000kg×2	60m/min (川崎重工)
ネットホーラー K-Y3-R/K-SE-2-H	300kg×30m/min	(泉井鉄工)
ラインホーラー K-2F-H	100kg×83m/min	(泉井鉄工)
シークレーン SEA CRANE31	3ton・m/600kg	(HIAB)
ギャロース L型 1式	ステンレス製	(ヤマハ)
油圧ポンプ LX-120-POL-10	190kg/cm ² ×100ℓ/min/1000rpm	(川崎重工)

6. 通信装置

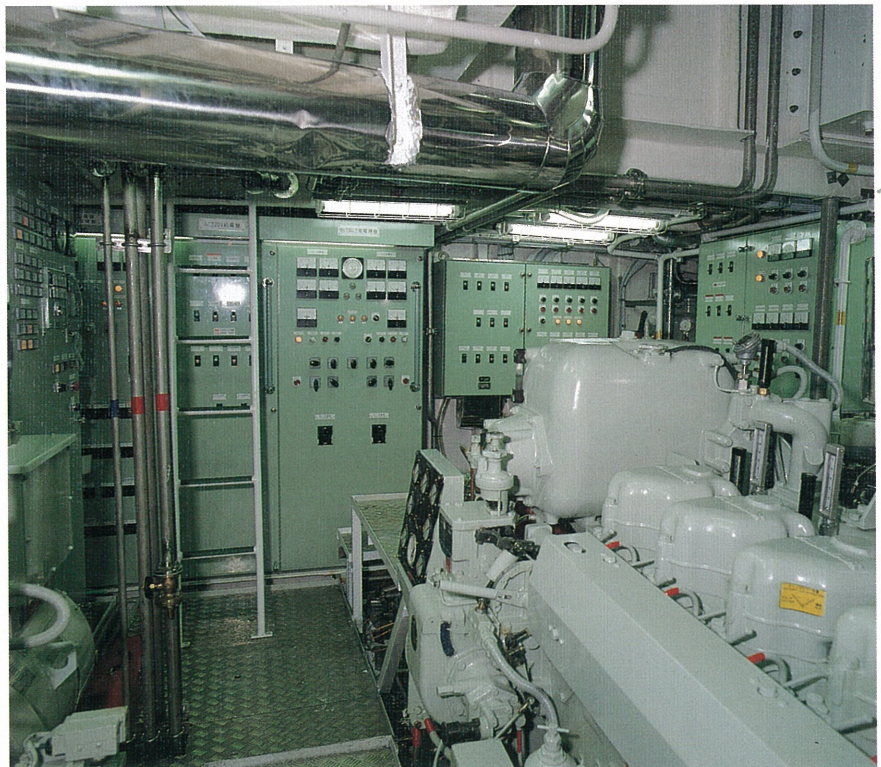
SSB10W JSB-15	(日本無線)
SSB25W JSB-28	(日本無線)
DSB1W JSD-27	(日本無線)
VHF無線電話 FM-8	(古野電気)
船舶電話 1台	(日本船舶通信)
気象用ファクシミリ JAX-9	(日本無線)

祿剛丸の沿革

- 初代 祿剛丸：9.84トン (木製) 焼玉機関15PS
昭和10年9月、 広沢造船所 (能都町)
- 第2代 祿剛丸：10.65トン (木製) ディーゼル機関42PS
昭和23年11月、 小木造船所 (内浦町)
- 第3代 祿剛丸：17.42トン (木製) ディーゼル機関75PS
昭和36年3月、 株式会社 清水造船所 (七尾市)
- 第4代 祿剛丸：32.25トン (FRP製) ディーゼル機関235PS
昭和48年3月、 有限会社 福島造船鉄工所 (松江市)



船内写真



石川県水産試験場

〒927-04 石川県鳳至郡能都町字出津イ字9番地

TEL 0768-62-1324

FAX 0768-62-4324